

# 学生相談室だより

92

追手門学院大学学生相談室

2020. 6. 1.

## 「性の多様性」と言葉にしなくてもいい社会へ

大林 裕典（非常勤相談員）



火曜勤務の相談員の大林と申します。去年度から勤務をはじめ、大学公認セクシュアルマイノリティサークル「RoseWing」さんと学生相談室の協働企画であ

るグループワークにも相談員として参加しています。今年度は残念ながら、新型コロナウイルス感染症（SARS-CoV-2）の影響で活動がまだなく、多くの方が再開を待ち望まれていると思います。かくいう私もその一人です。

RoseWingさんは誰でも参加できるサークルで、セクシュアルマイノリティに関する学習の他、茶話会等の企画を通して、誰もが生きやすい社会作りに貢献されています。活動は参加者の居場所作りにも繋がっており、そこで私たちは何者かである必要はなく、ありがたい自分、わからないままの自分で過ごすことができます。RoseWingさんの素敵なのは、そうした体験を良いこととして強制せず、どう体験して言葉にするのかも参加者の自由である点です。これは、今の言葉でいう「多様性」だと考えています。

誰もが耳にしたことがある多様性という言葉ですが、とりわけ「性の多様性」というと、「～を認めてあげよう」「～という指向があっても良

い」などの許可をする／されるといった理解がつきまとい、“当たり前にあるもの”というニュアンスは薄れてしまいます。さらに昨今よく使われる「LGBTQ」といった言葉もまた、人をカテゴライズする危うさをはらんでいます。「性の多様性を守る」と簡単には言えますが、多くの場面でマジョリティとマイノリティの対立や分断化が生じていることも事実でしょう。

本来、性やセクシュアリティに関しては誰もが当事者であり、誰かに許可されずともそこにあるものです。しかし実際には、個人の性はマジョリティを前提とされがちで、マイノリティは「性の多様性」の意識のもとで「許可」されるか、しばしばマジョリティとして扱われます。性の多様性が本当の意味で社会に浸透するのは、様々な性のあり方がわざわざ意識されずとも“当たり前”になった時でしょう。そのためにも、まずは誰もが（マジョリティもマイノリティも）それを意識することが大事なステップです。この意味でもRoseWingさんは、性の枠組みに囚われずに誰でも参加できる活動を通して、本当の性の多様性を考える機会を提供されています。

誰もがありのままの自分でいられる時が来るよう、今はまず、一人一人が「性の多様性」について意識してみることが大切だと思います。

## 新しい生活の理想と現実の差に困っていませんか？

米田 岬（非常勤相談員）



こんにちは。今年度から火曜日に勤務しております、相談員の米田です。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今年の新入生の皆さんの

不安は、例年の新入生の不安とはまた違ったものがあると思います。

新型コロナウイルスの影響で行動全般に制限がかかり、今年はお花見も自粛で遠くから地上にある大振りのピンクの雲を眺めるにとどまりました。新入生の皆さんは入学式という儀式がなく、からだで新しい環境に変わったこと、新しいコミュニティに所属したことを感じる機会がありませんでした。そのことで、「私って本当に大学生になったのかな？」という思いを抱いている方も、同じ新入生の顔が見られず「友達を上手くつくれるかな？」と疑問を継続して持ち続けている方も、「私が想像していた大学生活と違う。」と不満を抱えている方もおられるのではないのでしょうか。そんな不安をたくさん抱かれている方はきっとたくさんいて、あなただけではありません。その小さな不安が抱えきれないしんどさになってしまう前にいつでも学生相談室をご利用ください。

在校生の皆さんはこの新学期をいかがお過ごしでしょうか。新入生だけではなく、在校生の皆さんも戸惑っておられることでしょう。大学に通っていないと何だか大学や大学のご友人との距離感を遠く感じて、

居場所感が薄れてしまうようなこわさを抱えておられる方もいらっしゃると思います。居場所感の取り戻しのために学生相談室を利用してみることも良かったら選択肢の一つに加えてみてください。

また、現状への心配だけではなく、これから起きることへの心配も抱かれています。この状況だからこそ、「人付き合いに緊張していたから、ほっとした。」と安心している方もおられるのではないのでしょうか。この状況だからこそ、「人付き合いに緊張していたから、ほっとした。」と安心している方もおられるかもしれません。その方々は、通常に戻った時にまた苦手な人付き合いが密な形で始まることへの不安を抱かれます。そんな時に周りが再会を喜ぶ雰囲気であった場合、周りとのギャップを感じることもあるでしょう。一度慣れた生活を再構築させることは簡単ではありません。馴染ませるためのステップをひとりで踏むことに不安があれば、誰かを頼ってもいいと思います。あるいは場所という空間を利用して物理的に距離を取ることもいいでしょう。学生相談室横には学生が休むことのできるラウンジがありますので、良ければそちらに寄ってみてください。ひとりの時間を確保しながら、周りとの安心できる距離感を探してみましょ。横の学生相談室で人と場所の力を頼ってもらえたらと思います。

他にもどんな些細なことでも構いませんので、何か困りごとがあればいつでもご連絡ください。校内で学生の皆さんが多く行き交うキャンパスを早く見られたら嬉しいなと思います。

## 悩むことと学生相談

奥村 裕貴（非常勤相談員）



皆さま、はじめまして。安威キャンパスで水曜日にカウンセラーを担当しています奥村裕貴と申します。新型コロナウイルスの影響で、激動の中で

新年度がスタートしましたね。日々変化のある情報に触れながら、見通しの立たない中、また見通しを立てても覆されることもある中、お疲れになることが多かったのではと思います。そして、心は忙しくなり、それまでよりご自身の行動や周囲の反応に過剰に気を回しすぎる...などの心の状態になることもあったかもしれません。このような状態は、誰しにも起こり得る一般的な心の反応の範疇であります。ですので、決して心が弱いとか、異常な状態だとかご自身を更に追い詰められないようにしてほしいなと思います。まずは、心がストレスに対応しようと正常に機能しているんだ、と考えることが大切だと思います。ただ、その上で、たとえば悪く考えすぎて落ち込みがひどい・など皆さまそれぞれが持つ心の課題はあると思います。そして、現に不安定な心持ちからなかなか抜け出せないという状態になっている方もいるかもしれません。その点については、向き合うタイミングに来ているかもしれませんね。どうぞ学生相談室の利用を一つの選択肢として検討していただければと思います。

とはいえ、カウンセラー？学生相談？と...敷居高く感じてしまうこともあると思います。そもそも「相談」って何でしょうか？たとえ

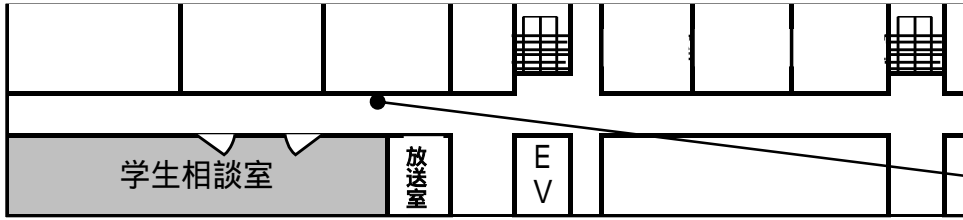
ば、法律相談のいう「相談」はどうでしょう。お金の貸し借りとか契約通りに対応してくれないから困ったなど...そういったことは法律的にはどうなのか？というイメージですね。お金の貸し借りであれば、法律的に、自分は間違っていないということが明らかになるかもしれません。これは権利なのだから堂々としたらいいんだ！と。しかし、法律的に「答え」がわかったとしても、実際に動くかどうかということになると...人間関係が絡んできて、簡単にその「答え」通りに動きましよう、とはいかないものだと思います。皆さまもこれまでの人生の中で、このような悩みや苦しみに遭遇したことがあるのではないのでしょうか。論理的に正解の方向がわかっている、行動に躊躇することは大いにあることだと思います。まさにそのような心の揺れにお供させていただくことは学生相談の一つのあり様だと考えています。

...というイメージがしかし、皆さまに学生相談室利用への敷居を高く感じさせることもあると思います。だいぶ使い方は違いますが、百聞は一見に如かず！？くらいのお気持ちでご相談くださればと思います。

コロナについて飛び交う情報の解釈も、人によって大いに異なり、混乱が生じる事態がまさに今ニュースで取り上げられていました。この状況下にいると、何が「答え」なのだろうと...と考えさせられます。カウンセラーとして思うことは、悩んで苦しんでも最後は自分の心が決めて進むということかと思っています。皆さまのご利用をお待ちしております。

# 学生相談室の利用について

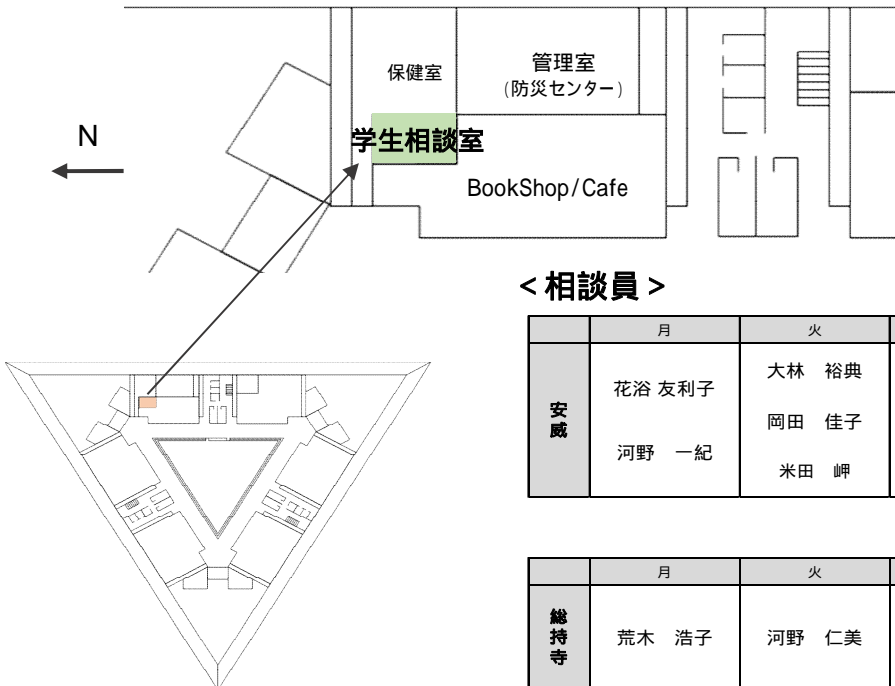
<安威> 2号館1階(左側)です。



入口前廊下



<総持寺> 大学棟1階です。



両キャンパスとも、  
事務室には事務職員が常勤  
しておりますので、お気軽  
に声をおかけください。

## <相談員>

|    | 月      | 火             | 水                             | 木  | 金     |
|----|--------|---------------|-------------------------------|--|-------|
| 安威 | 花浴 友利子 | 大林 裕典         | 荒木 浩子                         | 荒木 浩子<br>菊地 寿奈美  | 荒木 浩子 |
|    | 河野 一紀  | 岡田 佳子<br>米田 岬 | 笠谷 光<br>(キャリアカウンセラー)<br>奥村 裕貴 | 小山 明子 <sup>1</sup><br>(精神科医)<br>杉本 志津佳 <sup>2</sup><br>(ハラスメント相談員) | 河野 一紀 |

1 相談時間 10:00 ~ 14:00  
2 相談時間 11:45 ~ 14:45

|     | 月     | 火     | 水     | 木      | 金                    |
|-----|-------|-------|-------|--------|----------------------|
| 総持寺 | 荒木 浩子 | 河野 仁美 | 植田 あや | 花浴 友利子 | 笠谷 光<br>(キャリアカウンセラー) |

## <開室時間>

月～金曜日 10:00～17:00  
(総持寺は13:00～14:00閉室)  
受付 9:20～17:00

- \* 詳細はホームページや学生相談室のしおり、掲示板等でご確認ください。
- \* 長期休暇、その他行事等で変更する場合があります。

## <予約方法>

下記のいずれかの方法で予約ができます。  
来室 (受付時間内にお越し下さい)  
お電話 (受付時間内に右記までお電話下さい)  
メール (件名に「相談予約」、本文にお名前・学籍番号・連絡先電話番号・相談希望日等を記入し、右記アドレスまで送信して下さい)

## 追手門学院大学 学生相談室

<安威>

〒567-8502  
大阪府茨木市西安威2丁目1番15号  
電話 072-641-9628 (直通)  
FAX 072-643-5869  
E-mail sodan@otemon.ac.jp

<総持寺>

〒567-0013  
大阪府茨木市太田東芝町1番1号  
電話 072-697-8195 (直通)  
E-mail sodan-sojiji@otemon.ac.jp

<ハラスメント専門相談員>

杉本 志津佳 先生  
E-mail siduka.sugimoto.01@otemon.ac.jp